

西宮市下水道事業経営戦略に基づく取組みの評価（令和3年度（2021年度））

【第4章 推進施策と主な取組み】（西宮市下水道事業経営戦略 P.15～22）

公共下水道事業については、社会資本整備総合交付金（国からの補助金等）を最大限活用した上で、「総合治水（浸水対策）」「合流改善」「高度処理」「既存施設の改築更新」「地震対策」等の各施策の総合的な調整を行い、進捗を図っています。

指標	算式	達成率等					検証	評価
		H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R10年度 (目標値)		
1. 浸水対策・雨水整備								
10年確率降雨対策施設整備率 (%)	雨水整備事業投資済み事業費 / 雨水整備事業総事業費 × 100	10.8	13.7	16.0	20.7	34.4	合流貯留管について、令和2年度に完成した一部区間の供用を開始し、引き続き残工区の整備を進めている。	A: 順調
オンサイト貯留施設整備済み箇所数 (箇所)	オンサイト貯留施設整備済み箇所数	59	60	61	65	70	計画どおりに実施できている。令和3年度は、山口中学校等にオンサイト貯留施設を整備した。	A: 順調
2. 合流式下水道の改善								
きょう雑物削減のためのスクリーン目幅を縮小した施設数 (施設)	きょう雑物削減のためのスクリーン目幅を縮小した施設数	18	20	20	20	24	計画どおりに実施できている。	B: 概ね順調
3. 高度処理								
高度処理事業進捗率 (%)	高度処理事業投資済み事業費 / 高度処理事業総事業費 × 100	30.8	33.7	33.9	35.1	47.4	甲子園浜浄化センター5系が完成し、令和2年度から供用を開始した。また、枝川浄化センターに高度処理対応の新たな水処理施設の増設を行うための施設撤去工事を進めた。	A: 順調
4. スtockマネジメント計画に基づく改築更新								
管渠改善率 (%)	改善管渠延長(各年度) / 管渠総延長 × 100	0.04	0.10	0.10	0.12	0.17	改築延長は予定どおり実施できている。段階的に事業費を増加し、管渠改善率は向上している。	A: 順調
5. 地震対策								
施設耐震化率 (%)	耐震化済み施設数 / 耐震化が必要な総施設数 × 100	34.3	37.1	54.3	57.1	74.3	計画どおりに実施できている。令和3年度は、浜ポンプ場の耐震化を実施した。	A: 順調
重要な幹線等の耐震化率 (%)	耐震化済み重要な管渠延長 / 耐震上重要な管渠総延長 × 100	57.1	57.2	57.2	57.2	57.6	劣化度に応じて緊急性の高い管渠の耐震化を優先して実施し、少しずつではあるが、耐震化を進めることができている。	B: 概ね順調
6. 下水道資源・施設の有効利用								
下水道資源・施設の有効利用							施設更新時には、省エネルギー型の機器を導入する等、消費電力の低減に努めている。また、温室効果ガス排出量削減を目指し、下水汚泥の有効利用（燃料化・消化ガス発電）の実施について、推進した。	A: 順調
7. 市民と共に歩む下水道								
水洗化率 (%)	水洗化人口 / 処理区域内人口 × 100	99.8	99.8	99.8	99.8	99.9	継続的な啓発活動により、少しずつではあるが、未接続の解消が進んでいる。	B: 概ね順調
8. 健全な下水道経営に向けて								
企業債償還元金対減価償却額比率 (%)	企業債償還元金 / (当年度減価償却費 - 長期前受金戻入) × 100	169.3	153.4	146.2	133.4	72.6	企業債借入額の増に伴う影響はあるものの、昨年度実績より改善しており、概ね順調である。	B: 概ね順調
企業債残高 (千円)	企業債残高	59,039,537	58,293,532	56,923,970	56,149,019	55,601,685	企業債借入額の増に伴う影響はあるものの、昨年度実績より改善しており、概ね順調である。	B: 概ね順調
一般排水資本費にかかる基準外繰入 (千円)	一般排水資本費にかかる基準外繰入	770,000	750,000	230,000	0	0	計画通りに実施できている、順調である。	A: 順調
流動比率 (%)	流動資産 / 流動負債 × 100	62.3	67.3	72.4	74.9	129.7	企業債償還金が高いことにより流動負債が高くなっている。企業債償還金のピークが過ぎ、将来的には流動負債が減少するため、今後改善が見込まれる。100%以上が望ましい数値であるが、昨年度実績より改善しており、概ね順調である。	B: 概ね順調
企業債償還元金対使用料収入比率 (%)	企業債償還元金 / 使用料収入 × 100	110.8	100.1	100.7	93.0	54.9	企業債借入額の増に伴う影響はあるものの、昨年度実績より改善しており、概ね順調である。	B: 概ね順調

【第5章 投資・財政計画】（西宮市下水道事業経営戦略 P.23～27）

(1) 収益的収支

(千円/税抜き)

※数字は四捨五入しているため項目の合計は一致しない場合がある

項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)		差B-A	令和4年度 (2022年度)	増減理由 投資・財政計画との差が10%以上の項目 または特筆すべき事項(1,000万円未満は除く)	検証・評価
	[決算]	[計画] A	[決算] B		[計画]		
営業収益	8,033,408	8,122,162	8,027,830	△ 94,332	8,135,680	-	
下水道使用料	5,312,877	5,343,253	5,237,737	△ 105,516	5,330,401		
雨水処理負担金	2,391,968	2,491,393	2,422,937	△ 68,456	2,516,457		
他会計負担金	292,846	251,414	330,848	79,434	252,720	雨天時の汚水管への浸入水などの不明水が増えたことにより、不明水処理経費が増となったため。	
その他の営業収益	35,716	36,102	36,308	206	36,102		
営業外収益	3,593,021	3,457,461	3,529,860	72,399	3,412,181	-	
受取利息	9	3	4	1	3		
国庫補助金	105	1,000	176	△ 824	1,000		
他会計補助金	804,772	648,711	558,528	△ 90,183	622,996	分流汚水にかかる償却資産の減により、分流式下水道経費が減となったため。	
長期前受金戻入	2,748,750	2,785,989	2,930,405	144,416	2,766,424		
雑収益	39,386	21,758	40,747	18,989	21,758	スクラップ等の不用品売却収益が増したため。	
特別利益	0	500	0	△ 500	500		
収入計 (A)	11,626,429	11,580,123	11,557,690	△ 22,433	11,548,361	-	
営業費用	10,064,142	10,274,907	10,385,438	110,531	10,230,101	-	
管渠費	225,379	237,955	171,505	△ 66,450	241,069	計画時より修繕費及び委託料が減したため。	下水道使用料などの収入の減、減価償却費などの支出の増により、計画を下回る収支差額となった。
ポンプ場費	449,302	505,148	438,809	△ 66,339	519,969	計画時より修繕費及び委託料が減したため。	
処理場費	1,723,512	1,767,863	1,729,279	△ 38,584	1,765,557		
流域下水道維持管理負担金	472,293	443,917	526,007	82,090	444,142	計画時より県事業にかかる維持管理経費が増したため。	
業務費	263,418	265,695	267,827	2,132	265,031		
総係費	291,996	278,954	304,537	25,583	267,507		
減価償却費	6,408,415	6,441,551	6,584,208	142,657	6,481,150		
資産減耗費	229,826	333,824	363,266	29,442	245,676		
営業外費用	1,036,900	1,044,043	945,051	△ 98,992	1,005,519	-	
支払利息	922,576	973,290	807,384	△ 165,906	924,658	計画時の利率より実際に借入れた利率が低かったため。	
長期前払消費税額償却	67,206	70,753	82,168	11,415	80,861	控除対象外消費税が増となったため。	
雑支出	47,117	0	55,499	55,499	0	-	
特別損失	0	1,818	9	△ 1,809	1,818		
予備費	0	1,818	0	△ 1,818	1,818		
支出計 (B)	11,101,042	11,322,586	11,330,498	7,912	11,239,256	-	
収益的収支差引額 (A-B)	525,387	257,537	227,192	△ 30,345	309,105	-	

(2) 資本的収支

項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)			令和4年度 (2022年度)	増減理由 投資・財政計画との差が10%以上の項目 または特筆すべき事項(1,000万円未満は除く)	検証・評価
	[決算]	[計画] A	[決算] B	差B-A	[計画]		
企業債	3,981,400	4,021,800	4,097,600	75,800	3,362,800	-	公共下水道事業債（企業債）などの収入が増になったものの、建設改良費などの支出が、収入の増を上回ったことにより、収支差引額の不足額は計画値より増となった。
公共下水道事業債	3,197,600	3,192,100	3,309,700	117,600	3,284,800		
流域下水道事業債	83,800	99,700	91,400	△ 8,300	78,000		
資本費平準化債	700,000	200,000	200,000	0	0		
その他	0	530,000	496,500	△ 33,500	0		
国庫補助金	3,121,932	3,083,875	3,084,464	589	3,131,200		
他会計補助金	259,556	261,105	260,609	△ 496	212,261		
工事負担金	52,843	12,529	32,642	20,113	12,529	県との共同施設の工事負担金が増となったため。	
長期貸付金返還金	540	2,195	356	△ 1,839	2,195		
基金運用収入	0	100	0	△ 100	100		
収入計 (a)	7,416,271	7,381,604	7,475,671	94,067	6,721,085	-	
建設改良費	6,748,784	7,240,049	7,466,037	225,988	6,832,125	-	
固定資産購入費	2,798	539,247	609,114	69,867	5,116	計画時より施設利用権が増となったため。	
公共下水道整備費	6,546,822	6,467,119	6,648,747	181,628	6,615,286		
流域下水道等整備費	199,164	233,683	208,176	△ 25,507	211,723	計画時より県事業にかかる償還負担金が減となったため。	
企業債償還金	5,350,961	4,809,686	4,872,552	62,866	4,496,975		
投資	0	10,700	0	△ 10,700	10,700	-	
長期貸付金	0	10,600	0	△ 10,600	10,600	水洗便所貸付申請がなかったため。	
基金積立金	0	100	0	△ 100	100		
予備費	0	2,000	0	△ 2,000	2,000		
国庫補助金返還金	0	0	0	0			
支出計 (b)	12,099,745	12,062,435	12,338,589	276,154	11,341,800	-	
資本的収支差引額 (a-b)	△4,683,474	△4,680,831	△4,862,918	△182,087	△4,620,715	-	

(4) 資金残高

項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)			令和4年度 (2022年度)	検証（増減理由） 投資・財政計画との差が10%以上の項目	評価
	[決算]	[計画] A	[決算] B	差B-A	[計画]		
利益剰余金	2,116,160	1,471,148	1,944,599	473,451	1,402,952	-	当年度純利益は計画より減となったものの、過年度の純利益の蓄積により、計画を上回る資金残高を確保できた。
繰越利益剰余金	2,089,860	1,458,248	1,933,199	474,951	1,387,452	-	
減債積立金	26,300	12,900	11,400	△ 1,500	15,500	-	
建設改良積立金	0	0	0	0	0	-	
過年度損益勘定留保資金	0	0	0	0	0	-	
資金残高 合計	2,116,160	1,471,148	1,944,599	473,451	1,402,952	過年度の純利益の蓄積によるもの。	